





薬剤部 2026年1月21日発行

2月より注射抗癌剤の外観が変わります

このたび、薬剤部における注射抗癌剤の調製方法の変更に伴い、抗癌剤の払出時の形態が2月3日(火)より一部変更となります。

看護師の皆様への投与手技自体に変更はありませんが、払出時の外観が変わるため、以下の点についてご確認ください。

- ・ L字型スパイクは薬剤部での抗癌剤調製に使用するためのものです。
投与時には使用しないでください！
- ・ 抗癌剤が漏れる恐れがあるのでL字型スパイクを**抜かないでください！**

変更前	変更後
一般的な抗癌剤	
 <p>輸液のゴム栓に何も刺さっていない状態で払出</p>	 <p>L字型スパイクを装着した状態で払出</p>
揮発性の高い抗癌剤 (エンドキサン、イホマイド、ベンダムスチン、リサイオ)	
 <p>輸液のゴム栓に閉鎖式ルート接続用スパイクを装着した状態で払出</p>	 <p>従来の閉鎖式ルート接続用スパイクとL字型スパイクの2本のスパイクが溶解液のゴム栓に刺さった状態で払出</p>

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。(文責：志水)